

県議会南部振興議員連盟

# 天川村で「県南部・東部振興」条例制定後初の懇談会



天川村での県議会南部振興議員連盟主催の懇談会には、県南部・東部の首長らが多数顔を合わせた

## 五條市では県議会特別委「市の振興を推進する住民の集い」

今年の県議会2月定例会で制定された「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」をより具現化させるため、県議会南部・東部地域振興対策特別委員会(森山賀文委員長)、同南部振興議員連盟(川口正志会長、10人)は10月26日、五條市のシダアリーナで「同市の振興を推進する住民の集い」と天川村役場で荒井正吾知事と南部東部地域関係市町村長らとの懇談会の場を持った。五條会場では住民代表から、天川会場では首長から、それぞれ抱える問題などについての質問や意見が出され、県から出席した担当部局長がそれに答え、荒井知事が条例内容を前進させるため集約した。

五條会場では、市民50人近くが見守る中、県議会から森山委員長、県理事者として村井浩副知事、開催地として太田好紀五條市長が冒頭にあいさつした。次いで、藤井純一・県南部東部振興監や担当の部局長から

▼条例に関わる施策▼大規模広域防災拠点整備の推進  
▼奈良県の新型コロナウイルス感染症対策について説明があった。

この後、丸山泰登美・市自治連合会会長、中井良子・市地区婦人会連絡協議会会長、

出口喜代子・市生活学校委員長の「なつみ台」から、10月30日に事業開始式があった大規模広域防災拠点の整備地点を視察。永田孝士・県土木マネジメント部防災政策官によるパネル写真を使った説明に、眺望しながら熱心に聞き入った。

天川会場・懇談会からは荒井知事も出席。冒頭、川口会長は「毎年この時期、市町村から来年度予算に反映されるよう、要望を出している。県には予算として要望に添えていただいている。この場合は、顔を合わせることに何より意義がある」とあいさつした。

その後、県の部局ごとに

天川会場・懇談会からは、地元の施策の説明があり、地元の高谷重高・天川村長や今年初当選した吉井善嗣・野迫川村長ら6首長から、道路・森林環境整備や福祉などについて質問が上がった。その中で、吉井村長は村が抱える保健師、看護師の資格所有者の人材確保などについて、制度を含めて県としての対応を求めた。

これについて、荒井知事は「野迫川村では看護師、保健師は採用できないというところから、県全体で採用できないかと伺った。南奈良総合医療センターで地域診療所に派遣する看護師を全体で採用して派遣するという私の提言をもとに固めていきたい。それによってくれということをや

南和の病院の人たちの意思でやっていただければ。その時に過疎債を適用してやるのか、どう資金でやるのかは考えたい。南和の看護師連合会というものを作れないかという構想を持っている。南和の病院を関係市町村でこの案でやりたいと紙でお示しただければ。県がやるより、みんなやるのが条例の精神」と答えた。

### 川口会長「顔を合わせることに意義がある」強調 荒井知事「みんなでやるのが条例の精神」と激励

県議会特別委、議員連盟の一行は洞川温泉で一泊し、翌27日は山岳信仰の修験者が冷水で身を清める、大峯山寺護持院の龍泉寺に立ち寄り、本堂前の岡田悦雄

住職による護摩焚き行を間近で見学。無病息災と家内安全を祈願した。また帰途、御所市内では今年リニューアルオープンした水平社博物館内を観覧し、2日間のスケジュールを終えた。



荒井知事出席のもと、議員連盟会長として懇談会の進行を務める川口正志県議



京奈和自動車道五條西インターチェンジ近くのなつみ台から眺望できる県大規模広域防災拠点事業の予定地



天川村洞川の龍泉寺本堂前で行われた庄巻の護摩焚き行



龍泉寺境内で紅葉をバックに集合写真に納まる川口会長＝前列右から5人目＝ら県議、県幹部職員



五條市の「住民の集い」で、団体代表の一人として意見を述べる女性